

## 市民との意見交換会・報告書

開催地区：鶴城地区	開催日時：令和5年5月9日（火） 18時30分 ～ 20時00分
担当班：第1班（出席議員）讓矢 隆 石田 典男、原田 俊広、吉田 恵三、内海 基	
開催場所：鶴城コミュニティセンター	
参加人数：男性 3名、女性 1名、合計 4名（うち班外議員 0名）（他自治体等傍聴者 0名）	
会場の雰囲気、次回に向けての反省点、申し送り事項など	
1. 意見交換の総括	
(1) 議会報告、市政全般についての総括	
① 2月定例会議について	
・意見なし	
② 所管事務調査報告について	
・歩道除雪は直線的で、横断歩道の渡口、バス停など除雪されていないところがある。そういったところの除雪も検討していくべきではないかという意見をいただいた。	
③ 鶴城地区のまちづくりに向けた課題について	
・ごみステーション美化事業補助金について、意見交換が行われた。	
・城前集会所の工期について質問があったが、具体的な回答が出来なかったため、後日回答した。	
・意見交換会の情報発信は印刷物だけではなく、ネットを活用するなど若い人に知らせるような取組を実施してはどうかという意見をいただいた。	

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
<p>歩道除雪は積極的に進めていると思うが、機械の特性などで、直線的な除雪になっており、横断歩道の渡口やバス停など除雪されていないところがある。そこを子どもたちが苦勞して渡っている姿も見受けられることから、除雪について検討する際、課題として加えてほしい。</p>	<p>貴重なご意見として伺う。議会でも歩道除雪については重要な課題であると捉えており、教育委員会との連携による通学路の除雪状況の公開について要望的意見をとりまとめ、提出した経過にある。</p>	○	②		雪害対策
<p>緑ヶ丘町内会にはごみステーションがなく隣接町内会と共同運用してきた。昨年度、ごみステーション美化事業補助金を活用し、ごみステーションを設置し、令和5年4月1日運用開始を目指し、取り組んできた。隣接町内会との協議や私有地を利用するための協議を行い、9月に使用貸借契約を結び、ごみステーション・資源物ステーションの設置申請し、10月に承認されたが、ごみステーション美化事業補助金は予算を使い切り募集終了となっていたため自己財源で設置した。救済措置として次年度申請を認めるなどの措置がないのはこの助成金制度の趣旨から見ても合理的とはいえず理不尽な印象を受ける。鳥獣被害防止のための侵入防止策を購入した場合、購入後1年の申請を認めていることから同様の柔軟な対応があってもいいと思う。</p>	<p>全くその通りと考える。いったん議会に持ち帰り、文教厚生委員会の中でも議論をしていきたい</p>	○	②		環境
<p>道路の白線をなんとかすべき。そのためには道路の質も関係すると思う。会津の道路は他の他県と比べても悪いと思う。もう少し道路事情をよくすべき。</p>	<p>道路に関する市民要望は多く寄せられており、まだ700件ほどの要望が残っている。新しい要望も上がってくることから、年間で10件から20件程しか減らせていない。古い要望も残されていることから、いったん今までの要望を精査すべきと要望的意見を提出し、その取り組みが始まっている。市民要望に応えられる体制を整えていくことは重要と考えるので、今後も予算決算委員会第4分科会でも議論していく。白線については、国県市道で管轄が変わり、横断歩道などは警察の所管だが危機管理課で相談を受け付けてくれる。</p>	○	②		道路

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項(含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
城前地区の集会所について、4つの集会所が集約し、新たに建設されることになっているが、具体的な工期はどうなっているのか。	城前団地について建設委員会の中での議論では、基本設計は建築住宅課、実施設計は地元の設計会社、4つの町内会との協議内容、維持管理のあり方など確認したが、実施時期については年度内という事しか確認しなかったため、改めて確認し報告する。	○	③	後日確認し、関係者へ回答 (事後処理報告書P5に記載)	地域社会
ごみステーション美化事業補助金は初回1回限りなのか。	ごみステーション美化事業補助金は、設置額の50%、上限4万円が補助される。改修も対象となるため、1回限りという事ではない。しかし、予算額が200万円となっており、令和3年度は180万円ほど使い、令和4年度は足りなかったが、令和5年度も200万円となっている。設置、改修の件数が増えてきているため200万円が妥当なのかは議論の余地があると考えます。	○	①		環境
丈夫なものなど、質の良いごみステーションを危機管理課で紹介してくれれば良いと思う。	ご意見として伺う。	○	②		環境
意見を発言するというより、皆さんの意見を拝聴し、勉強させてもらおうと参加したが、あまりに参加者が少ない。いい取組なので参加者が増えるようにしていきたい。	ご意見として伺う。	●	②		意見交換会
意見交換会の情報発信は印刷物だけではなく、ネットを活用するなど若い人に知らせるような取組は行っていないのか。	ホームページや組回覧、区長さんによる声掛けなどに頼っている現状にある。広報広聴委員会の中でも、どうやって周知していくのか、参加していただくため、どのように訴えていくのかという事は常に議論しているところだが、広報については、まだまだ不十分である。	●	②		意見交換会

○ 議会報告(定例会など)、市政全般(市政・議会運営に関する意見交換)について

※分類 ●議会に関するもの ○市政に関するもの  
 ※番号 ①回答(処理)済 ②ご意見として伺った事項  
 (含む情報提供) ③後日回答

市民の発言内容	議会(議員)の発言内容	処理状況			※項目 キーワード
		分類	番号	対応	
<p>敬老祝い金がなくなってしまった。つながりづくりポイントは出歩ける元気な人など限られた人しか使えない。もう少し配慮が必要ではないか。</p>	<p>以前やっていた記念品や祝い金を送る事業がなくなることについては議会の中でも様々議論があった。つながりづくりポイント事業の肝は、全世代の人々が地域活動に参加し、支え合う仕組みを作るため、地域のつながりを作っていくことだが、市民に対する周知方法だったり、支援する側の参加が少ないなどの課題が明らかになってきている。質問のようなことも課題のひとつと捉えているので、このままでいいのかという議論が議会の中でも盛んに行われていくものだと考える。貴重なご意見ありがとうございます。</p>	○	②		高齢福祉

## 市民との意見交換会・事後処理報告書

## 鶴城 地区

件名	処理（対応）内容	備考
1. 城前集会所の工期について (P3)	<p><b>【市民からの要望・質問】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・城前地区の集会所について、4つの集会所が集約し、新たに建設されることになっているが、具体的な工期はどうなっているのか。</li></ul> <p><b>【事後処理結果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"><li>・5月10日に建築住宅課に確認し、6月着工、11月完成、12月引き渡しというスケジュールで進められている旨を参加いただいた関係者に回答した。</li></ul>	